

食器回収マニュアル(案)

第1版 制定 : 2007年 6月 4日

※白と色の分別については、現在協議中です。

※その他詳細についても、個別に協議します。

有限責任中間法人グリーンライフ21

陶磁器について

陶磁器(やきもの)は材質によって一般に大きく4つに分類されます。
 材質の表面が釉薬(うわぐすり)によって覆われているので、いとどこ(こうだい)部分で判断します。
 専門家でも4つの正確な分類は難しいです。それほど色々な種類のやきものがあります。

	磁器(じき)	炆器(せっき)	陶器(とうき)	土器(どき)
素地の色	白色	有色	有色	有色
焼成温度	1250~1400℃	1200~1300℃	1150~1300℃	1100℃以下
透光性	あり	ほとんどない	ほとんどない	ない
吸水性	ない	少ない	あり (釉薬で水漏れを防止)	あり (釉薬が無く水漏れ)
たたくと	金属音を発す	澄んだ音を発す	鈍い音を発す	鈍い音を発す
特長	やきものの中で もっとも硬い	磁器と陶器の 中間的性質	厚手で重い	釉がかかっていない ものが多い
製品 産地例	美濃焼、 有田焼、九谷焼	ストーンウェア 備前焼、朱泥	志野、織部 硬質陶器、伊賀焼	植木鉢、粘土細工
回収	○	○	○	×

土器を除く磁器、陶器、炆器が回収可能である。



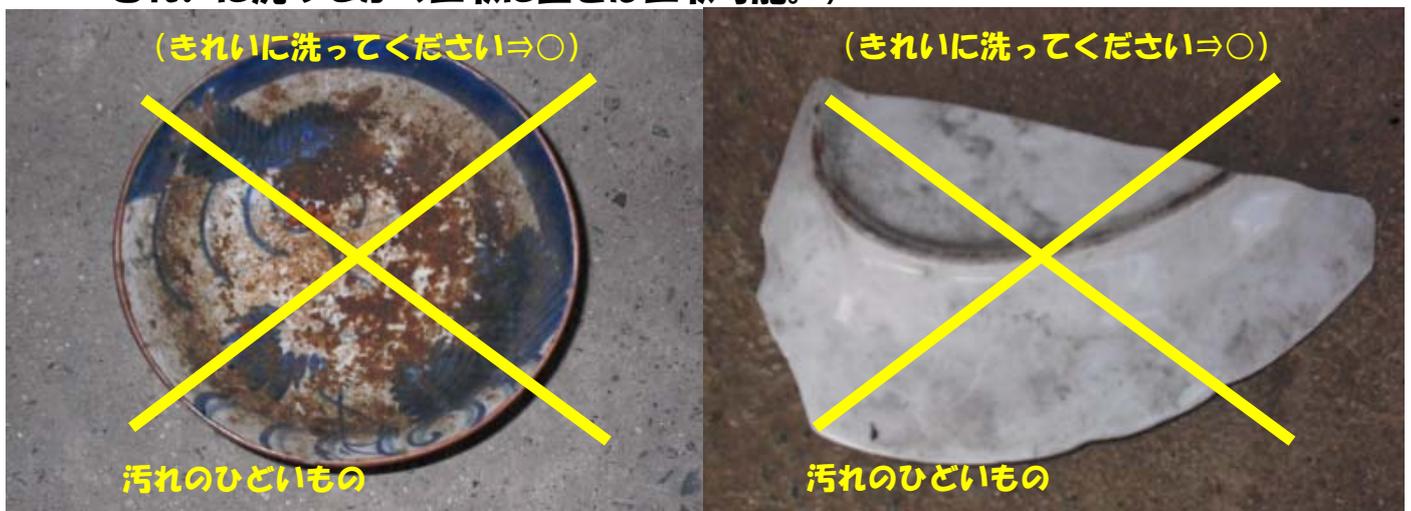
○磁器と陶器の見分け方



選別①砂糖や塩、食品残さが付着している。

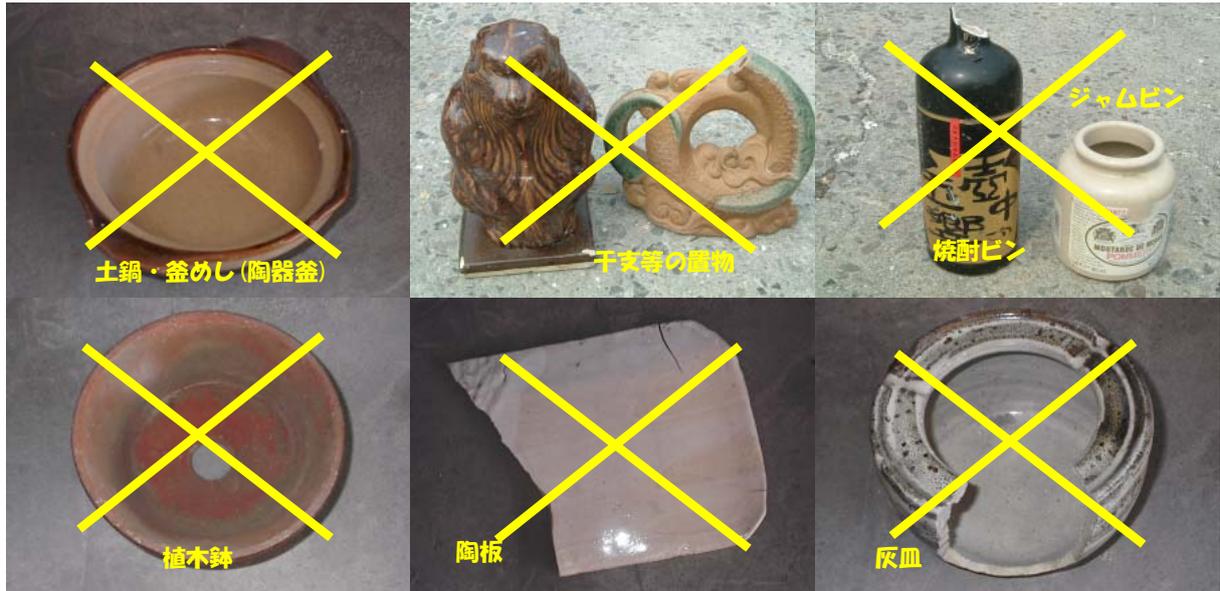
×汚れがひどいもの。

(残飯、塩分、砂糖が付いていますとリサイクル過程で問題が発生します。汚れの付いた食器は、汚れをとってから回収かごに入れてください。きれいに洗ってから回収に出せば回収可能。)



選別②食器以外のやきもの

- ×土鍋、釜めし〔陶器釜〕、人形、干支等の置物、傘たて、花瓶など
- ×焼酎ビン、ジャムビン
- ×植木鉢、瓦、お子さんの粘土細工などの土器



選別③土器及び異素材の食器

×陶磁器以外の材質の食器。

- ・メラミンなどのプラスチック製食器。ガラス製食器（透明および白色）
- ・強化ガラス製食器（コレール、山崎パンの景品）
※材質が磁器に似ている。いとどころがなく、底の面がつるつるなのが特長。
- ・ホーロー、七宝焼きなどの金属に釉がかかった食器
- ・漆器（木、フラス製）、石製の食器、金属製の食器

×異素材が合体した食器。

プラスチック製ふたつき小鉢、底に滑り止めのシリコンの付いた食器等
土瓶、急須等異素材の取っ手、茶越しを除けば回収可能。

未使用の食器のバーコードなどラベルの付いたやきもの

×食器以外の混入（回収時には、食器のみ回収カゴに入れてください）

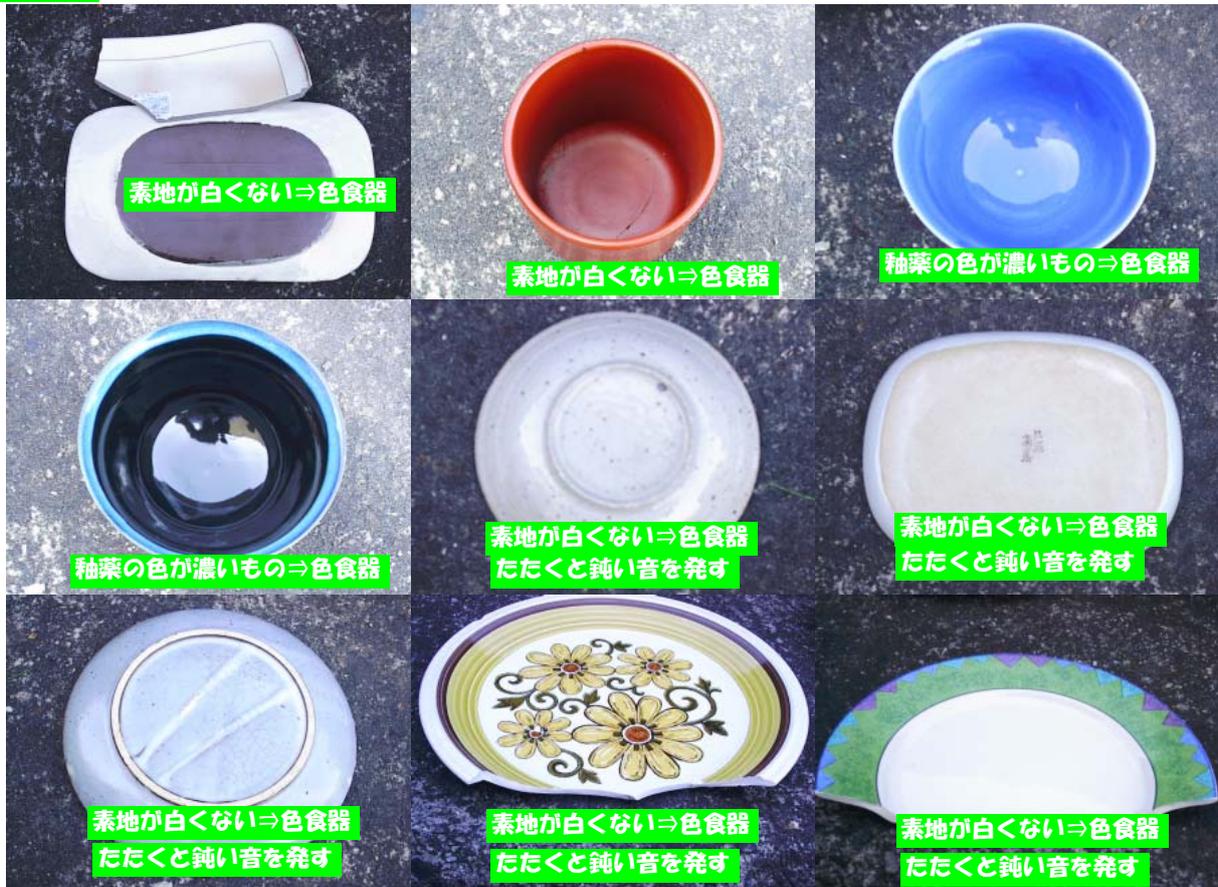
- ・ヒモでしばってあるものは、ヒモをとってください。
- ・食器の間に紙があるものは、紙をとってから回収籠に入れて下さい。



選別④回収できる食器

- 皿、丼、茶碗、湯飲、小鉢、マグカップ、土瓶、急須、酒器等、食器に限ります。
- 食器なら、磁器、陶器、珐器材質を問わず回収可能。
- 釉に色が付いているもの、絵柄が付いているもの回収可能。
- 主として白い食器と色のついている食器との2分別をお願いします。
・素地が白く表面の一部に色および絵柄のついているものは白でそれ以外は色
※美濃焼は主に白い磁器を製造しています。2分別によってリサイクルでも白い磁器ができます。

色食器



白食器



【陶磁器選別作業日報】

作業年月日		年 月 日		
作業時刻		: ~ :		
担当者名				
選別量(input)		[杯・kg]		
選別内容		再資源化(白)	再資源化(色)	廃棄
砂糖や塩、食品残さが付着している。 汚れがひどい。 (きれいに洗えば再資源化可能)		—		チェックボックス <input type="checkbox"/>
砂糖や塩、食品残さが付着していない。	飲食用の器(食器)以外の全て ・食器以外のやきもの(土鍋、釜めし[陶器釜]、人形、干支等の置物、傘たて、花瓶など) ・焼酎ビン、ジャムビン ・植木鉢、瓦、陶板、お子さんの粘土細工などの土器	—		チェックボックス <input type="checkbox"/>
	陶磁器以外の材質 ・メラミンなどの樹脂製の食器 ・ホーロー、七宝焼きなどの金属に釉がかかった食器 ・強化ガラス製食器(コレール) ※糸底がなく、底の面がつるつるのもの ・漆器、石製の食器、金属製の食器 ・土瓶、急須等異素材の取っ手	—		チェックボックス <input type="checkbox"/>
	異素材が合体した食器。 ・ガラスを含む食器 ・プラスチック製ふたつき小鉢 ・底に滑り止めのシリコンの付いた食器 ・土瓶、急須等異素材の取っ手、茶越し (異素材の取っ手、茶越しを除けば再資源化可能) ・ラベルが貼ってある食器 (ラベルをきれいに剥がせば再資源化可能)	—		チェックボックス <input type="checkbox"/>
	土器及び異素材の食器 ※土器(どき)は1100℃以下で焼成され、釉がかかっていないものが多く吸水性がある植木鉢、粘土細工等のこと	白食器 ・素地が白く表面の一部に色および絵柄のついているものは白	チェックボックス <input type="checkbox"/>	—
土器を除く食器 ※1200℃以上で焼成	色食器 ・上記以外は色 (朱泥、黒釉、土物、志野、赤巻)	—	チェックボックス <input type="checkbox"/>	
(以後の工程では選別せず、製品の原料として再資源化されます)				
選別後(output)合計		[杯・kg]	[杯・kg]	[杯・kg]
識別表示がされている。(白食器、色食器)		チェックボックス <input type="checkbox"/>	チェックボックス <input type="checkbox"/>	—
水に濡れない場所に保管してある。		チェックボックス <input type="checkbox"/>		—

GL21-1-1

陶磁器製食器回収に関するQ&A

- Q. 磁器、陶器区別ができませんが分別して回収しますか。
A. 磁器、陶器分別しないで回収します。色が問題です。
- Q. 割れた食器は回収に出してよろしいですか。
A. 家庭で不用になっている食器と破損した食器を回収します。回収時には怪我をしないよう注意してください。
- Q. 花瓶や置物などなぜ陶磁器製でも回収しませんか。
A. 基本的に食器から食器のリサイクルを考えています。また、食器は食品衛生法で有害物質の溶出が制限され安全性が確保されているからです。
- Q. 居酒屋を経営していますがお店で破損した食器を回収に出してもいいですか。
A. 業務で使用時に発生した廃棄物は産業廃棄物として処理されます。自治体の資源回収では回収対象外となります。
- Q. 紙ラベルのついた食器の紙ラベルがはがれませんが回収できますか。
A. 回収できません。食器を粉砕してふるい分けをする際、ふるいに紙が詰まります。紙などの異物の混入は避けてください。
- Q. 回収される未使用の不用食器をリユースしたいですが。
A. 良いことです。食器の場合、リユースがもっとも二酸化炭素を排出しない方法です。自治体の担当者にご相談の上、最良の方法をとってください。
- Q. 白と色の2分別の判断が難しいですが。
A. いとぞこの色が白で絵柄が少ない場合は白、残りは色と基本的に考えてください。迷われたら色で回収してください。
- Q. 回収された食器は何にリサイクルされますか。
A. 数ミリに粉砕され、食器の原料としてリサイクルされます。エコマーク付の食器も生産されています。他には、耐火物、タイルの原料としてリサイクルされます。別の用途にご入用なら、粉砕品を販売いたします。